

# 栃木県教育福祉振興会は

新採時～80歳まで



振興会は、『前期部会』にご加入いただいてから、60歳以降は『後期部会』として、80歳まで途切れることのない福利厚生を提供しています。  
新採時から80歳まで、会員の皆様に寄り添う事業を行っています。



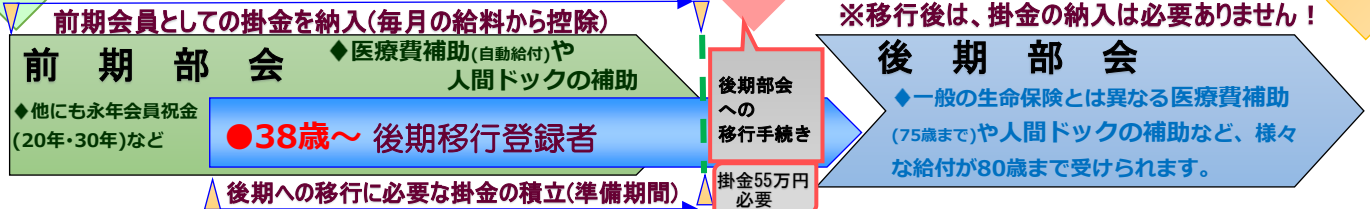
新採

前期会員

60歳

後期会員

80歳



近い将来のため・自分のため・選択肢を増やすため

## 今から準備が必要です

★60歳以降も医療費補助や人間ドックの補助などの、福利厚生を継続させるため

★60歳のときの状況で判断できるよう、選べるようにするため

「60歳以降の生活に備えて」の準備

それが 38歳からの後期移行登録です

60歳以降の『後期部会』への移行に必要な掛金を満38歳から分割納入できる制度

例) 満38歳から23年間 × 月2,000円 = 60歳時の積立額 552,000円

例) 満51歳から10年間 × 月2,000円 = 60歳時の積立額 240,000円

\* 後期部会への移行に必要な掛金は、会員1名55万円です。

後期部会説明会出席者(60歳)の“生の声”です

(移行登録会員の声)

○塵も積もれば山となるとは、このことね!! よかったわ。この状況ならどちらか選べるわ。

○積立してきた掛金もあるので、移行の時に負担がなくて嬉しいです。

○「登録しておいたほうがいいよ」という先輩のアドバイスに感謝です。

(移行登録していなかった会員の声)

○なんで積立の掛金が0円なんだろう...

○積立額がないと55万円の出費か...痛いなぁ。当てにしていた退職金が使えないので移行は諦めます。

安心



60歳のときに、後期部会へ「移行するか」「退会するか」選べるので“安心”して登録。

選択肢を増やすには、移行登録『していたか』『していなかったか』が、大きな分かれ道です。

近づくにつれて感じる  
“定年退職後の不安”



1. 経済 (年金・生活の不安)
2. 健康 (病気・医療費の不安)
3. 社会 (人とのつながりの不安)

“不安”がたぐさん。  
どうしよう...  
“その不安”をひとつでも“安心”に変えられたら...いちばんは、健康に生活したいなぁ。

後期部会の補助があれば“安心”

- ◆人間ドックを受診したとき補助が受けられます。
- ◆病院で受診したとき、入院・外来どちらも補助の対象になります。  
薬局分も合算して補助が受けられます。

ぜひお勧めしたい！振興会の特別な制度

後期移行  
登録者

38歳から登録できる

後期部会移行に必要な掛金を満38歳から分割納入できる制度です。

小さな**準備**が  
将来の**安心**に

毎月2,000円を  
給与から  
自動的に控除

教職員ではない  
配偶者分も登録可  
(2人分で毎月4,000円)

後期部会に移行  
しやすくなる

① 後期部会への移行時の**負担を大幅に軽減**  
(80歳までの福利厚生確保)

まとまった資金が  
確保できている

② 満60歳時点で**移行されない場合、全額還付**  
(その時に必要な資金が得られる)

振興会の『前期部会』に加入している会員のみが登録できる、教職員の特別な制度です。配偶者と一緒に登録することで、配偶者の将来の安心に繋がります。

## 80歳まで続けられる教職員の福利厚生「後期部会」

前期部会の会員としての給付助成は、満60歳を迎えた年度末で終了となります。**振興会会員の福利厚生を引き続き受けるためには、「後期部会」への移行手続きが必要**となります。

参考

医療費補助金 75歳まで



要:領収書(原本)

年度上限3万円

【給付対象期間】

満75歳(誕生日)まで

保険適用による自己負担金の  
合計額が2,000円以上の場合、  
5割を給付(100円未満切捨)

「今」ではなく、「これから」

80歳の誕生日まで、さまざまな給付  
助成が受けられる「後期部会」。

合計9種類の給付助成、会員サー  
ビスについて、**いずれ誰もが迎える定年  
後も教職員の福利厚生として提供して  
いるのは、当振興会のみ**となります。

将来のため・自分のため

将来のための備えがあるかどうか・・・  
取り巻く環境は、ますます不安定さを増  
している中、**自分の生活を守るため、  
今から何ができるのか**、考えてみては  
いかがでしょうか。

※その他の給付助成は、振興会ホームページにて。

参考

人間ドック助成 80歳まで



要:領収書(原本)

年度1回上限1万5千円

会員が、1泊2日又は日帰りの人間  
ドック(脳ドック、婦人科検診、市町  
健診等も含む)のいずれかを利用  
(料金2千円以上)したとき。

※保険適用ではない検診なども該当

※令和9年度から「医療費補助金」「退会給付金」「死亡弔慰金」の内容等が変更 になります。

一般財団法人栃木県教育福祉振興会 〒320-0065 宇都宮市駒生町1359番地37(学校生協会館内)  
TEL028-680-6301 FAX028-680-6303 E-mail:shinko-info@jewel.ocn.ne.jp 振興会ホームページ ⇒

